

第22回中国大学生「走近日企・感受日本」 訪日団報告書の刊行にあたって

本書は、中国日本商会が実施する「走近日企・感受日本」事業の第22回訪日団の報告書です。

本事業は、当会が会員からの寄付金を原資として、中国人大学生を訪日視察に招待派遣するもので、2007年から年に2回実施しており、今回までに31大学681名の学生に参加頂きました。

本年は日中平和友好条約締結40周年であり、本事業もその記念事業の一つとしての認定を受けて実施されました。次代の中国を担う若者に日本の実像に触れてもらう機会を提供する本事業は、日中両国民の相互理解の増進に大きく貢献しているものと自負しております。

第22回訪日団は、2018年5月29日から6月5日までの8日間、6大学から選抜した29名で編成され、各訪問先において貴重な交流と体験をし、無事に終了いたしました。

このたびの訪日では、京都、神奈川、東京で会員企業6社を訪問させていただいた他、京都大学、早稲田大学における日本の大学生との交流、中国大使館訪問、京都の名勝や日比谷松本楼の視察、一泊二日の日本の家庭へのホームステイ体験など、多彩なプログラムを実施しました。また、ホームステイの受入れにご協力いただいた企業数は16社にのぼっております。

このように本事業は、中国日本商会の会員企業の多大なる協力と貢献のもとに実施されています。また、共催団体である中国日本友好協会に全面的なご協力を頂くとともに、一般財団法人日中経済協会、中国友好和平発展基金会と公益社団法人企業市民協議会(CBCC)に適切な寄付金の管理を行って頂いております。改めて、本事業実施にご支援、ご尽力を頂いているすべての関係者に厚くお礼を申し上げます。

本事業に参加した大学生たち、あるいは彼らが交流した日本の学生たちが、将来、日本との交流の懸け橋となり、さらに強固な日中交流関係の促進の為に貢献してくれる事を、我々、中国ビジネスに関わる企業としても心より期待しております。

なお、今回の派遣は、第3期交流の初回として実施しました。本事業は日中関係が厳しい環境にある時にも敢えて継続して参りました。

中国日本商会としては、今後も、本事業を通じて次代の中国を担う若者の日本との交流と理解促進を図って参る所存でございますので、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

中国日本商会 会長 平井康光

2018年6月